

皆既中の星野

編集部

皆既となるとどうしても、目がコロナに集中してしましますが、星野にも是非注目してください。太陽と月は、おうしの角の間にあります。付近の惑星は、まず火星が太陽から136'のところ、1.7等で輝いているほか、水星(0.5等)、金星(-3.9等)も見られます。皆既が冬の星座の中でおこるのでまわりに明るい恒星もたくさんあります。肉眼でいくつ星がみられるか、調べるのもおもしろいでしょう。

写真撮影にも挑戦してみてください。'73年アフリカ日食の際、生野一明さんは $f=24mm$ 、 $F2.8$ 、1秒露出(ASA100)で惑星、一等星が写ったと報告しています。また、'80インド日食で、佐藤精一さんは $f=24mm$ 、 $F5.6$ 、 $\frac{1}{4}$ 秒(エクタ200)で撮影した際、地平線の赤味は撮れたが、星は全くだめだったそうです。これらを参考にして露出を決めるといいでしょう。

図の左上すみに各地点での天頂方向を示しています。矢印が真上を向くように図を傾めて御覧下さい。

